

研究協力をお願いについて

本学では、下記の研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この説明文書送付後、2020年7月30日までにご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、金沢大学医学倫理審査委員会の審査を受け、医薬保健研究域長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

2011年12月～2015年12月までに早産で出産され、研究にご協力いただきインタビューさせていただいた方

2. 研究の目的について

研究課題名：早産に至った母親の出産体験の内在化

この研究では早産を経験した患者で以前研究にご協力いただいたときに聞かせていただいたインタビューのデータを使って、早産に至った母親は産後の生活の中でどのように感じているのかを明らかにすることを目的としています。

3. 研究の方法について

この研究では、以前インタビューをさせていただいた際のデータを、匿名化して保存してあったものを、今回の検討で使用させていただきます。この間の手続きとしては、紙データは4年を目処に全てシュレッダーで破棄し、データは匿名化し電子媒体で今後の研究のために保存しました。

今回の研究に際し、参加を拒否する方は7月20日までに申し出て貰えば、申し出内容から貴女のデータを同定し、今回の検討からは除外します。

このデータの検討を通して、早産に至った出産体験の内在化についての研究をまとめ、看護学会等で発表しさらに専門誌に投稿をすることを目的としています。

4. 研究期間

承認日～2025年3月31日まで

5. 研究に用いる試料・情報の種類

2011年12月～2015年12月までに出産された方で、研究にご協力いただきインタビューさせていただいたインタビューと参加観察の内容（匿名化して保存してあったデータ）

6. 外部への試料・情報の提供・公表

外部への資料・情報の提供や公表はありません。

7. 予想される利益と不利益について

この研究はデータの検討だけを行う研究であり、この研究に参加しても患者さんに直接の利益はありません。予測される不利益として個人情報の流出の可能性はゼロではありませんが、そういうことがないようにデータは匿名化されており、その上でデータの取り扱いについては、外部に漏れることが無いよう細心の注意を払います。

8. プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供されたインタビューなどのこの研究に関する匿名化されたデータは、さらに個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。また、この研究で得られた結果は学会や看護専門雑誌等に発表されることがあります。このような場合でも、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

9. 研究組織

※研究を実施する全ての共同研究機関（企業も含む）の名称及び研究責任者名を記載して下さい。

金沢大学金沢大学医薬保健研究域	教授	田淵紀子
	〃	柳原清子
		南 香奈
元金沢大学金沢大学医薬保健研究域		島田啓子
金沢大学附属病院		前田美幸

10. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

本研究において利益相反はありません

11. 研究への不参加の自由について

試料・情報が当該研究に用いられることについて、ご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2020年7月30日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。

12. 研究に関する窓口

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究機関の名称：金沢大学医薬保健研究域医学系
研究責任者：田淵紀子（金沢大学医薬保健研究域）
問合せ窓口：前田美幸（金沢大学附属病院 助産師）
住所：金沢市宝町13-1
電話：076-265-2966(直通)
研究代表者：前田美幸（金沢大学附属病院 助産師）
住所：金沢市宝町13-1
電話：076-265-2966(直通)